

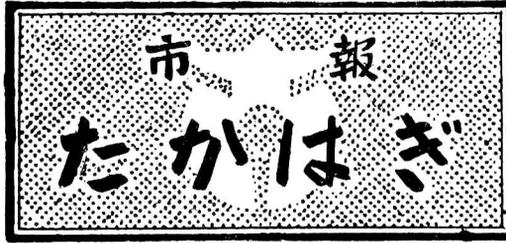
無理するな!

遠くに見えても

車は速い

春の交通安全運動を

30日まで実施中



才131号

45年4月20日発行

発行 高萩市役所
編集 秘書課
印刷 藤枝印刷所

豊かで調和のとれた都市づくりを

昭和45年度予算成立 総額15億4千万円

施政方針の大綱

三月十一日から開かれました第一回市議会定例会で安村市長は新年度の施政方針を述べ市政運営の所信を明らかにしました。

市長はこれの中で「人間尊重の精神にもとづく社会開発の調和ある発展と社会保障の充実を図り、国際的視野に立つた経済政策を進めたい」としている。国県の方針を基本として、これに対処しうる施策を進めたい」と述べ新年度予算など議案三十二件を可決し二十日終了しました。

施政方針の要旨は主要次の通りです。

本日、昭和四十五年度の当初予算の審議を行う第一回定例会市議会にあたり、施政方針と予算案の説明を申しあげることが、たいへん喜しいことであります。

一九七〇年代を迎え、わが国の経済発展は引続き伸長を示し、先進諸国に伍して次第に主導的地位も高まつて行くものと確信するものです。かかる高度経済成長のなかで、生活水準は向上し、ますます行政水準も引上げられ、行政需要の増大が予想されます。

行政も大量処理の経済性から広域化が企画されており、本年から米作中心の農政の転換年度となり、総合農政の出発点でありますので真心と英知を傾けて対処していきたいと考えます。

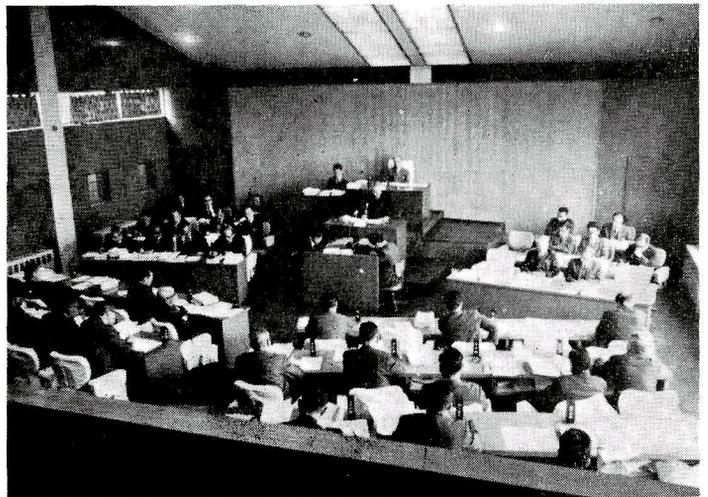
私は当市のおかれている諸条件を究明し、市勢の飛躍を計るための思い切った積極策を推進し、市民と共に考え、計画し、実行していきたい所存です。

そこで工業都市としての今後の躍進に待つべく、昨年度より進めている松久保工業用団地造成を推進し、更に手綱工業団地を計画し併せて上水道、工業用水道の進捗を促進し、都市的機能の充実に、また中央公民館の建設、へき地振興、山村開発を重点に懸命に努力したいと考えています。

各般にわたり、市民福祉の向上の施策が考えられますが、現在の市財政の現状では思うような施策を行なうことが出来ないのが残念であります。しかし私を中心として職員を奨励し、真摯なる努力と議員各位のご支援とご協力により現状を打開して行きたいと念ずるものであります。

昭和45年度予算一覽

一般	会計	9億4559万6千円
特別	水道事業	2億7154万4千円
	工業用水道	1億6290万1千円
	国民健康保険	1億5081万9千円
	農業共済	1028万8千円
	高萩霊園	58万2千円
	小計	5億9613万4千円
合	計	15億4173万0千円



市民の暮らしを高める施策

住みよい市づくりのための予算のうち投資的事業に使はれる予算の概要を説明し、どれくらい予算でどんなことが、どんなところに使われるかを解説してみよう。

議員報酬など議会議費 会活動に必要な経費が計上されています。新たに議員控室机購入費一五万円が計上されました。

▽総務費 昨年より給与センターに委託され引き続きその委託費も計上されました。職員福利厚生施設の一つ更衣室の新築費二三〇万円、公有財産購入費二七二万七千円(高浜町一丁目四二番地買戻と旧税務署敷地の購入費)、松久保工業団地も六月ごろより着工される予定でその起工式費一二七万八千円も計上されました。花貫ダム期成同盟会及び工業団地促進協議会にも補助金を交付し、早期実現のための積極的予算も計上されています。なお市長、県知事、県議会議員の各選挙費のほか五年に一度行われる国勢調査の費用一二六万円も計上されています。

▽民生費 恵まれない人たちのための扶助費、生活保護費が大部分です。児童福祉の向上をめざした各種の予算、保育所の整備にも意をもち、私立保育所措置児童委託料として九二二万一千円、生活扶助費一億九八九万円が予算化されました。

▽保健衛生費 環境衛生面の充実には積極的に対処し、衛生センターに二六二万四千円を出資し、本年度より二年計画で焼却炉を建設、隔離病舎負担金に六六万七千円、と畜場へ二四五万円が予算化されました。

▽労働費 失業対策事業として、側溝新設工事(東本町、有明町、肥前町)として延長二、四五〇メートル、道路補修工事を市内一円に実施し、延長二万九六〇〇メートルを計画、屋外清掃工事等に三六三万三千円が計上されています。

△農林水産業費 草地造成改良事業 十一か所に一六二四万七千円を計上、各所に草地改良事業を実施します。土地改良事業にも九八八万八千円が予算化されました。なお山間地帯の住民生活水準の向上と、畜肉需要の供給源としての役割として阿武隈八溝畜産基地の今後の方向づけがなされる年であり、林業構造改善事業も二年目を迎え、国有林活用事業、資本装備高度化事業早期育成林改善事業、林道事業に二二二四万六千円が計上され、早期事業の完成と林業者の福祉向上をめざしています。

▽商工費 商工会に助成金として一六〇万円、花貫溪谷の一つ土岳に駐車場を建設するための費用二二二万円が計上されました。

△土木費 道路橋樑費の主な予算化は高萩一和野線の五二六万八千円、行人塚道路改良工事に八一五万円、坂東塚の改良工事に六七五万五千円、市道中戸川線の改良工事一七七〇万八千円、市道大能線一五七四万四千円、島名一荒屋間道路舗装新設工事費四九五万四千円など総額で八千六二二万七千円が計上されています。その他都市計画費に一千四六一万円、市営住宅二十戸分建設に

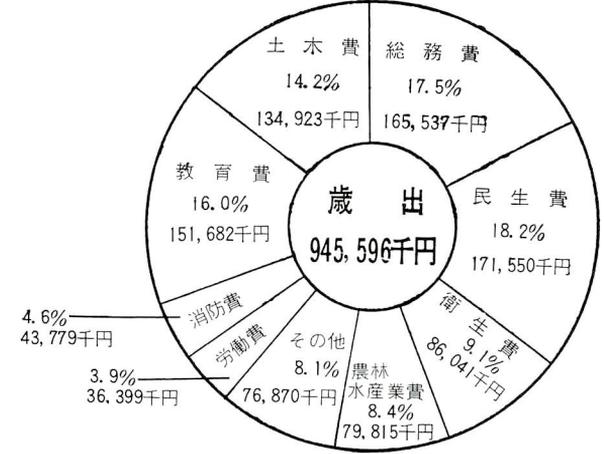
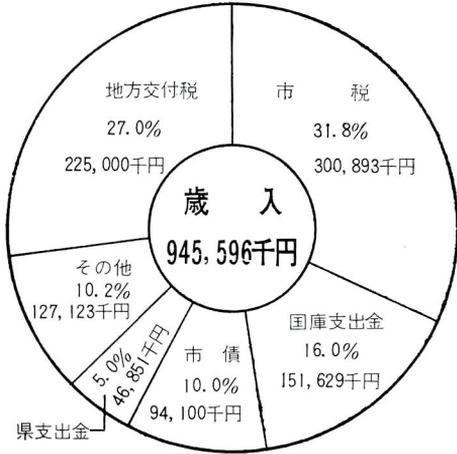
一千九四万六千円が予算化されました。

▽消防費 市民の生命、財産を守る消防活動に必要な経費が盛り込まれていますが今年ほどくに消防庁舎を増築するための予算四八五万五千円、水道消火栓設置工事費に三二〇万円、消防指令車八〇万円、消防自動車購入費二六八万円と消防行政には積極的に対処しています。

▽教育費 昨年市民会館の建設を予定しましたが補助金、起債等が困難になりましたので、今年はずびとも公民館建設を実現するため、予算五千八三三万八千円が計上され、とりあえず講座室、料理実習室等を計画し、四十六年度において一三〇〇人程度収容できるホール兼スポーツ振興の為の施設をつくる計画です。要望の多かった松岡地区の幼稚園開設も予定し、又秋山保育所の定員増も予定し、幼児教育に努力が傾注されました。保健体育費には市営グラウンド整備費として二三二万三千円が計上されています。

なお、その他高萩小学校舎の改築、秋山中の体育館東地区の保育所設置も目下の急務でありますので財源の關係上見送らざるを得なかつたが近き将来必ず予算化し建設に着手したいと考えて

一般会計歳入歳出構成





＝みごと完成した高戸造成農地＝

面積 7.35ヘクタールに及ぶ農地が完成、代替地希望者50人にこのほど配分が決まりました。

45年度市税の予算状況

市 税	予 算 額	前 年 比
市 民 税	67.292	15.185
固 定 資 産 税	157.209	22.668
軽 自 動 車 税	4.949	634
た ば こ 消 費 税	38.277	2.217
電 気 ガ ス 税	20.424	1.260
鉱 産 税	20	△ 1
木 材 引 取 税	3.505	△ 423
入 湯 税	174	173
都 市 計 画 税	9.043	△2461
計	300.893	39.252

市社会福祉協議会には、善意の寄付がこれまでもたくさんいただいておりますが又最近のかたがたの寄付がありましたので、市民福祉のために有意義に使用させていただきます。

明るい話題

今年も五月一日より五月三十一日まで赤十字社員増強運動が展開されます。社員は今までは年額百円以上の社費を納めることになつております。四十六年度よりは三百円以上が有資格者となりますので、今年はその点も含みのうへご協力くださるようお願いいたします。

赤十字募金運動に

ご協力ください

目標額……四九万六千円

「下君田火災に対して 救援ありがとう!!」

罹災の方々には仮住宅も出来生活設計を樹てつづあることを報告いたしますとともにご支援くださいましたみなさんに市報を通じて厚くお礼申し上げます。

高萩市社会福祉協議会長
安 村 篤

さる三月二十二日の下君田の大火に際しまして、罹災者救援を市内各団体にお願ひしましたところ、さつそく各団体、個人、又遠くは東京、石岡、水戸、日立よりと多数の衣料品、食糧品、現金等の寄贈をいただき、災害対策本部に送り、罹災者に配分しました。

松岡小学校内に市立幼稚園を開

予算説明のなかでも述べたように四月二十日より松岡小学校内に幼稚園を開設しました。元氣な園児四〇名は母親につれられ額賀園長先生のお話しに熱心に耳をむけていました。

高萩霊園募集中

- 募集期間 45年4月20日から4月30日
- 申込み先 市役所保険衛生課
- 面積と金額及び管理料

面 積	金 額	管 理 料
6平方m	42.000円	月額 100円
6平方m~8平方m	49.500円	〃 120円
8平方m~9平方m	76.000円	〃 150円

くわしいことは保険衛生課へおたづねください。

国民健康保険証の

検認印を受けましょう

現在使用されている国民健康保険証は、四月一日から検認印を受けなければ無効です。

至急、保険証及び印鑑を持参して、もれなく検認印を受けましょう。

国民健康保険の被保険者で、他の保険に加入し、ま

だ異動の手続をとつていない方は、両方の保険証を提示してください。出生、死亡、転入、転出等で手続をされていない方、今期高校、大学等に入学し、遠隔地の保険証が必要な方は、別に保険証を発行することが出来ますので、保険証、印鑑及び在学証明書を持って市民課窓口で手続をとってください。

解説 土地・家屋の評価替えを実施

今年度は、地方税法に定められている基準年度とい... 固定資産税の評価替えの年... 度であります。これについ... ては、自治省、県地方課の... 指導により固定資産評価基... 準にもとづいて、売買実例... 等を参考に適正な時価の設... 定を行い、新年度より次に... 述べるような方法で税負担... がなされる事となりました

【土 地】

今回の評価替えにより、宅地は、市平均一、五倍の上昇率を示していますので新評価額をそのまま課税標準額として税額を算出しますと税負担額は一挙に一、五倍となりますので、税制調査会は昭和四十五年一月二十二日の答申において、税負担の激増緩和措置として負担調整を行うよう答申しています。

【農 地】

評価替えは行われませんが税の負担は昭和三十八年度の税額を限度としてすえおかれることになりました。

△ △ 負担調整とはどのような措置なのだろうか

【固定資産税】

昭和四十五年以降の宅地などにかかる固定資産税

までです。必ず納期限までに完納してください。連絡先は税務課賦課第二係、電話二二五〇の内線一七番へおたずねください。

【表 1】 計 算 方 法

税 額 = 固定資産の額価 (課税標準額) × 税率 (固定資産税 1.4 / 100, 都市計画税 0.2 / 100)

【表 2】 負 担 調 整 率

Table with 2 columns: 上昇率 (3倍未満, 3倍~8倍未満, 8倍~25倍未満, 25倍以上) and 負担調整率 (1.1, 1.2, 1.3, 1.4)

【表 3】 計 算 例

Table with 2 columns: 項目 (38年度の価額, 44年度の価額, 上昇率, 負担調整率, 44年度課税標準額) and 金額 (10.000円, 50.000円, 5倍, 1.2, 24.888円)

上の資料をもとに、固定資産税を計算しますと右のようになります。

Table with 4 columns: 年度 (44, 45, 46), 評価額 (30.000円, 50.000円, 50.000円), 負担調整率 (1.2, 1.2, 1.2), 課税標準額 (24.883円, 29.859円, 35.830円), 税 額 (330円, 400円, 490円)

☆ 47年度以降は、課税標準額が5万円になるまで負担調整が続けられます。

【表 4】 負 担 調 整 率

Table with 2 columns: 上昇率 (2倍未満, 2倍~4倍未満, 4倍以上) and 負担調整率 (1.3, 1.6, 1.9)

【表 5】 計 算 例

Table with 2 columns: 項目 (44年度の価額, 45年度の価額, 上昇率, 負担調整率) and 金額 (30 000円, 50.000円, 1.6倍, 1.3)

上の資料をもとに都市計画税を計算しますと右の表のようになります。

Table with 4 columns: 年度 (44, 45, 46), 評価額 (30.000円, 50.000円, 50.000円), 負担調整率 (--, 1.3, 1.3), 課税標準額 (30.000円, 39.000円, 50.000円), 税 額 (60円, 70円, 100円)

【家 屋】

家屋は、全棟について固定資産評価基準にもとづいて、経年減点補正等により評価替えが行われました。その結果、当市においては、昭和三十八年以前建築の家屋の価額(家屋は課税標準額と同じ)はそのまますえおかれることとなりました。

しかし、昭和三十八年一月二日以降、昭和四十四年一月一日までに建築された家屋で評価水準注1を算出して表イにより三%の範囲で税額の減額になります。

表 イ、昭和45年度減価率

Table with 2 columns: 評価水準 (80%以下, 80%~90%, 90%~95%, 95%~) and 減 価 率 (0%, 1%, 2%, 3%)

注 1. (評価水準)

評価水準 = (再建築評点数 × 経年減点補正率 × 1点当り単価) / 44年度評価額

注 2. (計算例) 昭和40年建築の家屋

600.000 × 0.71 × 0.95 / 420.000 = 96%
420.000 × 97% = 407.400円